

資料

- ◇資料1・・・発達の姿
- ◇資料2・・・延長保育
- ◇資料3・・・年齢別デイリープログラム[一日の流れ]
- ◇資料4・・・学校保健計画、学校安全計画（※資料8の後に掲載）
- ◇資料5・・・個人情報保護に関する

プライバシーポリシーについて

- ◇資料6・・・質の評価、園評価
- ◇資料7・・・サポートセンター（概念図）
- ◇資料8・・・休日保育
- ◇参考資料
 - 月の指導計画（記入ポイント）
 - 「資質・能力の三つの柱」
 - 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」
 - こども園ソング

発達の様(発達過程)

0歳-1

資料 1

月 齢	運 動 (健康)	認 識 (表現・環境)	言 語 (言語・表現)	情 意 (人間関係)	社 会 性		
					自 我・対 人 基 本 的 生 活		
					(人間関係)	(環 境)	(健康)
0:00	<ul style="list-style-type: none"> ○種々の新生児の原始反射がみられる ○まとまりのない塊運動が見られる ・仰向けで左右非対称的姿勢(フェンシングポーズ)をとっている ・縦抱きにすると頭を時々起こす ・仰向きで左右対称の姿勢になる 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な五感の働きがみられる ○一日の大半を眠って過ごす時々泣いて目覚める ・体に触られたり姿勢が変化したりするとそれを感じる ・ミルクや甘いものは、すぐに飲み込むが、酸っぱいものや苦いものは、つばと一緒にはき出す ・反射的に音に対して反応する ・動くもの・光るものが目に入ると少しじっと見る ・空腹のときに抱くと顔を乳の方に向ける ○目覚めている時が多くなる ・目の前(90度位の視野)に見えるものを少し見る ・一定の味・一定の感じに馴染む 	<ul style="list-style-type: none"> ・単調でリズムカルに泣く ・生理的緊張が高まると泣き、要求が満たされると泣きやむ ○不快なときに激しく泣く ・顔をしかめたり、くつろいだ表情(安心、気持ちいい)をしたりなど目を開いているとき、少し表情が出てくる ・体にくっついて手足を動かしてやると喜ぶ ・気持ちよく抱いてくれる人の顔をじっと見る 	<ul style="list-style-type: none"> ・便や尿がたまる、反射的に出る ・発汗や体温調節の機能が未熟(沐浴が必要) ・一日のうちほとんどの時間を眠っている(18時間) ・空腹の時乳首を近づけると吸い付く ・飲みながらうとうとする ・生理的状態の違いによって泣き声が変わる 			
0:01							

0歳-2

月 齢	運 動 (健康)	認 識 (表現・環境)	言 語 (言語・表現)	情 意 (人間関係)	社 会 性		
					自 我・対 人 基 本 的 生 活		
					(人間関係)	(環 境)	(健康)
0:03	<ul style="list-style-type: none"> ・腹ばいで少しの間頭を持ち上げる ・手に物が触れると握ったり引っ張ったりする ○首がしっかりすわる ・腹這いで頭と肩をあげたり手足をバタバタさせたりする ・興味を持った物に手を伸ばしてつかまうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ○周りの世界に積極的に注意を向ける ・目の前の顔をじっと見る ・オルゴールメリーやカーテンなど動くものを見る ・周りの音やあやされる声を聞こうとする ・物の音と人の声の違いがわかってくる ○周りの世界に働きかける ・手に触れたものは何でも口にもっていく ・ガラガラなど振って音のでるものを喜び何度も繰り返す ・哺乳瓶を見ただけで喜ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アー」「ウー」「ウクン」など単調な声を出す ・人に向かって声を出す ・高低・大きさ・長短など自分で調節しながら声を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○泣き分ける ・心地よい時は声をだして喜び、不快な時は激しく泣いて怒る ・人が関わると喜び、いなくなるとむずかる ・人が相手をするとき大きな声を出したり両手をバタバタさせたりして笑う ・相手をして欲しい時に、関わってもらえないと不機嫌になる 	<ul style="list-style-type: none"> ○人と関わることを喜ぶ ・人の声のする方に向く ・あやされるとそれを受けて笑いかけたり声を出したりする ・自分の方から人に向かって微笑む ・物より人が関わる事を喜ぶ ・そばに人がいると安定する ・いろいろな声で自分から人を呼ぶ ・そばにいる人に手を伸ばして触り「アーアー」と声をあげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・抱かれ方、ミルクの飲み方になじみが出てくる ・おむつが濡れていると人に訴えるように泣くことが多くなり、おむつを替えると泣きやむ ・お腹が一杯になると乳首を舌で押ししたり顔をそむけたりする ・母乳以外の味に少しづつ慣れていく ・便意をもよおした時は顔の表情が変わったり「ウン」ときばったりする ・目覚めの時間がはっきりしてきて、一日数回は目覚めている(平均睡眠時間は14~15時間) ・おむつが濡れると泣いて訴える 	

月 齢	運 動 (健康)	認 識		言 語 (言語・表現)	情 意 (人間関係)	社 会 性		
		(表現・環境)				自 我・対 人 基 本 的 生 活		
		(人間関係)	(環 境)			(健康)		
0:06	<p>○寝返りを打つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あお向きから横向きになるなど自分で姿勢を変化させる ・座らせるとしばらく一人座りをとする ・片方の手に物を持っている時、もう一方の手に物を手渡すと、先に持っていた物を離す ・腹這いで、お腹を中心に肘・腕でグルグル回る ・支え立ちさせると、足をつっぱる ・腹這いにすると腕をつっぱって後ずさりをする ・寝返りを自由にする ・一人で座る 	<p>○見慣れない人を不思議そうに見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イヤなことがはっきりしてくる ・要求がはっきりし、強くなる ・自分の思うようにいかなないと怒るような素振りが出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・見知らぬ人や見慣れない物をじっと見る ・母親と他人との区別がつき特定の人がわかる ・ガラガラなど物を叩いたり落としたりやめるなど自分から変化をつくって遊ぶ ・新しい物をチラチラ見たりうかがったりして、関心を向ける <p>○感情の表出がさかんにになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・馴れた場所では安心して居るが、見馴れない場所に行くとながら泣く ・興味のある物に対し、手を出したり口に入れたりする ・泣いたり仕草や音声によって要求や気持ちを表そうとする 	<p>○人見知りが強まる(特定の人への愛情、信頼)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな人といると気持ちが落ちつく(安心感) ・見馴れない人や場所をこわがる ・好きな人や欲しい物(マンマ)を見ると喜びをはっきり表す 	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌だったら口をつぐんだりそらそうしたり乳首を噛むなどする ・歯が生え始め、半固形物を噛んで食べるようになる ・食事や排泄の間隔が延び、大便、小便の回数が減少し1回の量が多くなる ・昼、目覚めている時間が多くなり、2~3時間ずづは起きて遊ぶ ・親しい人とまじわりながら衣服を脱がせてもらうの喜び、手足をバタバタさせる ・食べ慣れない物を出されると嫌がる ・周りの人が食べているのを見て欲しがらる ・夜8時間ぐらい眠り続けるようになる 			

月 齢	運 動 (健康)	認 識		言 語 (言語・表現)	情 意 (人間関係)	社 会 性		
		(表現・環境)				自 我・対 人 基 本 的 生 活		
		(人間関係)	(環 境)			(健康)		
0:09	<p>○自分の好きなどころへハイハイしていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両手で物を打ち鳴らす ・片方から片方へ持ち替える ・親指と人差し指で小さな物をつまむ ・片方に物を持ちながら、もう一方の手で物を扱うことができる <p>○立つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つたい歩きする ・相手に物を手渡す 	<p>○模倣活動・表象活動が開始する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「イナイ イナイバー」 ・周りの音声や動作をが分かってくる 真似て繰り返す <p>○積極的な探索活動が始まる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣類カゴ等の中のを全部放り出す ・見えなくなってしまったものを探す ・「ブーブ」「マンマ」「ワンワン」など、大人の言葉の意味が何となくわかる ・取って欲しい物、連れて行って欲しい方向など、自分の要求を指さす ・自分の知っている好きな手遊びの歌などを聞くとすぐに好きな部分をやり出す 	<ul style="list-style-type: none"> ・人の表情や身振りを通して、何となく言葉の意味がわかり始める 	<p>○人見知りが強まる(特定の人への愛情、信頼)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな人といると気持ちが落ちつく(安心感) ・見馴れない人や場所をこわがる ・好きな人や欲しい物(マンマ)を見ると喜びをはっきり表す 	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの友達を意識しはじめ、じっと見つめて笑ったり玩具を取りに行ったりする ・身近な人の後追いをとする ・名前を呼ばれたら動作で反応する 	<ul style="list-style-type: none"> ・スプーンやお皿などに興味を持ち、遊びながら食べようとする ・昼間3~5時間続けて起きている 		

月 齢	運 動 (健康)	認 識 (表現・環境)	言 語 (言語・表現)	情 意 (人間関係)	社 会 性	
					自 我・対 人 基 本 的 生 活	
					(人間関係)	(環 境) (健康)
1:00	<p>○歩行の始まり</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人で立ち上がる 2、3歩あるく 階段を這ってのぼる <p>○探索活動がさかになる</p> <ul style="list-style-type: none"> 小さな物を、容器などの中に入れて出したりする マーカーなどを持って手を左右に動かしたり、たいたいたりして、なぐり描きする 	<ul style="list-style-type: none"> 「一本橋コチョコチョコ」などを歌い始めると、予測してくすぐったい様子で身をすくめる 机の上の物を全部落として拾わせては又落とすなど、人にかかわって遊ぶ スイッチをさわって遊んでいるうちに、物が動いたり止まったりするのがわかる <p>○表象機能が育ってくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本や紙芝居を好むようになる 興味のあるもの（飛行機・自動車・電車など）が見えなくなるまでジューッと目で追う 自分の物と他人の物をわきまえず取りに行く 	<p>○言葉が始める</p> <ul style="list-style-type: none"> 片言をいう 日常的な言葉が大体理解できる 一つの言葉で似たようなものを表す 指差して人や物の名前を聞いたり、自分の意思を表したりする 身振りや動作に言葉（バイバイ等）が伴う 「プー」「マンマ」など一語で言う <p>○身近な人のしていることを真似る（模倣）</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な曲の一部を歌ったり知っている所を歌ったりする 言葉の指示で、行為や行動ができるようになってくる（タオルを直しておいでという片付けに行く） 	<p>○生活のリズムが整ってくる</p> <ul style="list-style-type: none"> 甘えたり頼ったりしながら、自分の要求を出してくる 好きな人の後追いをしたり、ほほずりをしたりして、自分から接触を求める ほめられると喜んで何度も繰り返す 思いがけない形や大きな音を怖がる マンマや抱っこなど、自分の要求を人の手を引っ張ったり表情等で表わそうとしたりする 好きな歌やリズムが聞こえると身体を動かして楽しむ 	<ul style="list-style-type: none"> 「マテマテ」などいいながら追いかけてもらうのを楽しむ 鏡に写っている身近な人が分かる 机をたたいたり、お茶をこぼしたり、楽しそうなことを見てまねて遊ぶ 自分の名前を呼ばれたら声や動作で返事する 玩具の受話器を持って話しているつもりで頭を下げるなどの表現をする 口に手を当てて笑うなど身近な人の特徴的なしぐさを真似る 	<ul style="list-style-type: none"> 食べ物を容器から出したり入れたり、積んだり混ぜたりしながら食べる 「きれい きれいしよう」とタオルを差し出すと、手を出し拭いてもらおうとする 「マンマ」らしい言葉を繰り返して食事の催促をする 好きな物を好んで食べる 刻んだものを噛んで食べる（普通食への移行） 午前・午後一回ずつ、合わせて2~3時間程度の午睡をする 大便・小便が出るとき、ジューッとしている事がある 体を洗ってもらう間、顔の向きを変えたり腕を伸ばしたりして、合わせようとする 服を着るのに袖に腕を通したりズボンに足を通したりすることに応じる 好き嫌いがはっきりしてくる
1:06	<ul style="list-style-type: none"> 物につかまらずに少しの段差をまたぐ 手を添えてもらって階段を登り降りする 					

月 齢	運 動 (健康)	認 識 (表現・環境)	言 語 (言語・表現)	情 意 (人間関係)	社 会 性	
					自 我・対 人 基 本 的 生 活	
					(人間関係)	(環 境) (健康)
1:06	<ul style="list-style-type: none"> 器から器に水を移す シャベルで砂をすくう なぐり描きや曲線を描く 調節しながら積み木を2~3個重ねる 絵本のページをめくる 	<p>○物と物との関係がわかる</p> <ul style="list-style-type: none"> 机を出すと椅子を持ってこようとする ひもつき玩具を倒さないように力の加減をして歩く <p>○表象活動がさかになる</p> <ul style="list-style-type: none"> 積み木など身近にあるものを「プー」「マンマ」など何かにみたくて遊ぶようになる 絵本や紙芝居にのっている食物をつまみ、食べる真似をする 	<ul style="list-style-type: none"> 物に名前があることがわかるようになり何度も指差ししてたずねる 語頭語「オ（しっこ）、語尾音「（オシッコ）」で話す 潜在二語文「（オシッコ）デタ」と話す 	<p>○依存と自立の要求が現れる</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な大人に自分のしたいことを中断されたり嫌なことをされたりした時、行動や表情で主張する 自分のできない事を大人にさせて自分の要求を実現させる <p>○友達に感心を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> 人の持っているおもちゃが気に入り、取るうとする 欲しいものを取り合って、取られたら噛んだり引っかいたりして怒る 鏡を見たり写真の中で自分の姿や友達のをみつけて分る 「イヤ」「チョウダイ」等身振りやことばで相手に伝えようとする 	<ul style="list-style-type: none"> よくこぼすが、スプーンを握りすくって食べようとする 手助けをいやがり自分で食べようとする 布団を敷くと「ネンネ・ネンネ」など言って寝ようとする 帽子、靴下を脱ごうとして引っ張る 自分の帽子や靴がわかり、自分でかぶろうとしたり、はこうとしたりする 身振りで尿意の素振りをし始める 午後1~2時間程度の午睡をする 保育者の「シーシー」「ウンウン」などの声かけて排泄しようとする 	

月 齢	運 動	認 識	言 語	情 意	社 会 性		
					自 我・対 人 基 本 的 生 活		
					(健康)	(表現・環境)	(人間関係)
2:00	<p>○姿勢が安定してくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少しなら走る ・10cm～20cmくらいの高さから飛び降りる ・水道の栓をまわす（水道を開ける） 	<p>○物と言葉が結びつく</p> <p>○模倣が盛んになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な大人が砂でプリンを作っているのを見て、同じように作ろうとする ・大人が掃除などを始めると、使っている物を取って同じようにしたがる <p>○物と物との関係がわかり、つもりをもって行動する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手の届かない所の物を取るのに身近にある物を使う（椅子・積み木・長いブロックなど） ・袋を持ったり布を巻いたりして、○○になったつもりで遊ぶ ・身近な物の中で“イッシュヨ”の物がわかる 	<p>○好きな人に感心を示し、真似をして喜ぶ（好きなひとのスリッパをはく等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「コレハ?」「コーハ?」と言葉で盛んに尋ねる ・物を見てその子なりの言葉で表現する（「チュンチュン」「クック」「ポウシ」など） ・幼児語、幼児音で話す ・大人のしぐさや言葉を真似て言う <p>○自分が芽生える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思った事と違うと「イヤー」と言葉で言う ・何でも自分でしたがりが「ジブンデ」「○○チャンガ」と言う 	<p>○好きな人に感心を示し、真似をして喜ぶ（好きなひとのスリッパをはく等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のやりたいことを身近な人にやってもらって安心して同じように行動する ・赤ちゃんに対して関心をもち関わっていかうとする <p>○自我が芽生える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分でしようとしている事に人が手を出すと怒る ・「コレガイヤ」「ジブンデ」とやりたがり、上手くいかないと怒り、できると満足して喜ぶ ・他人の物でも欲しいと思えば無理やり取りに行き、物の取りあいが激しくなる ・「待っててね」がわかり、少しの間待てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・おしっこが出たら、「チーチ」「アーア」など言いながら、前を押さえてジューツとしている ・箸を持ちたがる（危なくないような配慮が必要） ・保育者が衣類などをたたんでいると真似てたたもうとする ・パンツやズボンを自分ではこうとする 		

月 齢	運 動	認 識	言 語	情 意	社 会 性		
					自 我・対 人 基 本 的 生 活		
					(健康)	(表現・環境)	(人間関係)
2:06	<ul style="list-style-type: none"> ・階段を、足を交互に出して登り、降りる時は一段ずつ足を揃えて降りる ・両足でピョンピョン跳ぶ ・30cm位の高さから、構えて跳び降りる ・鉄棒にぶら下がる ・高さに合わせて頭、腰を低くしてくる ・丸や縦線、横線を真似して描こうとする 	<p>○言葉によって様々な物の性質や関係がわかりだしてくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見えない物でも「○○持ってきて」など頼まれると一つの指示の手伝いをする ・それらしき形を描き始め、なぐり描きを好きな物に見立てる ・「机の上にあるよ」と言うとき机の上を見る ・多い少ないなど生活の中で比較ができる ・身近な生活に結びついた色の名前がわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・二語文→三語文で話す ・友達と同じようにしたくて「○○チャンモ」と言う ・友達の名前を言う ・友達の言った言葉を真似しあう ・「カシテ」「ドウゾ」の言葉を知って使う ・ごっこ遊びの中で「プリンドウゾ」「オイシイ」など、子ども同士の会話が增える ・身近な色に対して関心が向き、その色の名前を言う ・「ヒトツ、フタツ」「イッパイ、チョット」など量に関する言葉を使うようになる ・「オカエリ（タダイマ）」などの言葉を使う ・興味のある身近なお話を聞く 	<p>○友達への関心がでてくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の名前をマークなど同じ物を見つけて喜ぶ ・友達が嬉しそうに遊んでいると同じような事をして喜ぶ ・思い通りにならないと泣きわめいて、かんしゃくをおこす ・普段聞き慣れない大きい音を聞いたり、見慣れない物を見たりすると怖がる <p>○基本的生活習慣を覚えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物の取り合いなどの時に自分なりに何とかしようとする ▽「イヤ」「アカン」と言ったり、取られないようにしたりする ▽泣いている友達に“よしよし”をする ▽違う物を持って来て渡す ・信頼している人に抱かれると、怖がりながらも安心して見ようとする 	<ul style="list-style-type: none"> ・小便が出る前に知らせ大体昼間はぬらさないようになる ・促されて、自分で手を洗おうとする ・促されて、うがいしようとし、水を含みはきだす 		

月 齢	運 動 (健康)	認 識 (表現・環境)	言 語 (言語・表現)	情 意 (人間関係)	社 会 性		
					自 我・対 人	基 本 的 生 活	(健康)
3:00	<ul style="list-style-type: none"> ○体のバランスがとれるようになる ・三輪車をこぐ ・数回ならケンケンをする ・相手に向かってボールを投げる ・走る時、転ぶ事が少なくなる ・リズムに合わせて体操などの振りができる ・マルを描く ・ハサミで一回切りをする ・水道の栓が閉められる 	<ul style="list-style-type: none"> ○物の見方、考え方が自己中心的である ・身近な物の性質(硬い・熱い・冷たいなど)を自分なりに捉えようとする ・見たり聞いたりした事の興味のある所だけを捉える ○二つの相反した事柄を見分けて選択できるようになる ・「オオキイ、チイサイ」「オオイ、スクナイ」などを区別して言う ○自分と周りとの関係・理解が育ってくる ・簡単な約束やルールがわかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・(おもちゃを投げるのを見て)「ブロック イタイ イタイ イッテルヨ」などと言う ○自己主張が強くなり、ぶつかり合いが多くなる ・人の話は自分の興味のある所だけ聞く ・親しい人となら会話ができる ・「○○シタイ」「○○ホシイ」など、気持ちを言葉で言う ・「コレデイ」「ミテミテ」と確認を求めて言う ・「エートナー」「ウントナー」などを使いながら話す ・遊びながら自分の思いをつぶやく等、独り言を言う 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの表現で思いを出す(泣く、すねる、物にあたる) ・自分がしようとしている事をじやまされた時に、強く抵抗して意思を通そうとする ・褒められると得意になってやってみようとする ・大人の注目、関心を引きつけたいという行動が表われる ・おどけた動作や言葉面白くなって喜ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の事を我先にと言いたがる ○自分なりにつもりをもって行動する ・喧嘩、葛藤などを繰り返しながら、少しずつ気持ちのコントロールができて始める ・遊びの“つもり”の連いでトラブルになる ・好きな友達に泣いたり、困っている表情や「イヤ」等の言葉を言っているのを聞いたりして何とかしようとする(泣かせている方が悪いと思って怒りに行く) ・「コレデイノ」「ミテミテ」等一つ一つ大人に確認したり、認めて貰いたがる ・「シタラアカンネ」と言いながらそれをしてしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・「オシッコ」「ウンコ」と告げ、自分で用をたし、手助けされて後始末をする ・前後の区別がつかなかったり手助けを求めたりするが、ほとんど衣服は自分で着脱できる ・促されて歯をみがく ・促されて鼻をかもうとする ・食事の前など声をかけられると自分で手洗いをする ・ブクブクうがいをする ・うまく使えないが、箸を使って食べようとする 	

月 齢	運 動 (健康)	認 識 (表現・環境)	言 語 (言語・表現)	情 意 (人間関係)	社 会 性		
					自 我・対 人	基 本 的 生 活	(健康)
3:06	<ul style="list-style-type: none"> ・粘土を手のひらで丸めてダンゴを作る ・ハサミで直線切りをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物の形や色などの違いに気付く ・自分のつもりで物を扱ったり表現したりできるようになる ・物の関係や仕組みに興味をもち、試してみる ・自分の前がわかる(位置) ・自分の生活の流れの中で“今”と“過ぎた事”がわかる ・身近な人等になりきって、ごっこ遊びをする ・顔を意識して描く ・簡単なストーリーのある絵本を好むようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ・「長い(赤い)ブロックが欲しい」などと、形や色にこだわって言う ・「ナゼ」「ドウシテ」とさかんに尋ねる ・自分が興味を持った過去の事を「～シタ」と話す ・「ボク」「ワタン」などを使い始める ○ごっこ遊びが盛んになる ・ごっこ遊びで、そのつもりになりきって言葉を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな友達に誘われたらうれしい ・「ヨセテ」と言っても、無視されたり「アカンヨ」などと言われた時、悔しい気持ちを出す ・2~3人で誘い合って遊ぶが移り変わる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のグループの友達がわかる ・順番が少しわかって自分の順番がくるのを楽しみにする ・遊んでいる時に「ヨセテ」「イイヨ」などのやりとりをする 	<ul style="list-style-type: none"> ・好奇心が強く、突発的な行動をとる(安全に対して心配りが無い) ・箸を使って食べる ・給食やおやつの手伝いをやりたがる 	

月 齢	運 動 (健康)	認 識 言 語		情 意 (人間関係)	社 会 性		
		(表現・環境)	(言語・表現)		自 我・対 人	基 本 的 生 活	(環 境) (健 康)
4:00	<p>○目的に合わせて、全身の動きや手指の操作を調節する力がついてくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標まで走りきる ・走りながら方向転換をする ・リズムに合わせてギャロップ等をする ・膝ぐらいの高さの紐を両足を揃えて飛び越す ・目標に向かって、ボールを投げる ・顔を水につける 	<p>○物を見分けたりまとめたりする力が育ってくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・比較しながら関係を捉えようとする ・「あっちが大きい」と友達のもの比べて言う ・「カブトムシの『カ』も、カレーの『カ』も同じやなあ」と音節に関心を持ち始める ・「○○はでっかいな(大きいな)」「○○はちっちゃいな」等言う ・楕円形を「長〜いまる」と言う ・「〜みたい」と言う ・「〜とか〜とか」「〜も〜も」と例示で話すことが多くなる ・「なぜ?」「どうして?」と納得するまで尋ねて、自分の経験し知っている事に合わせて物事を知らうとする <p>○物の順序や系列、対応などの理解が進む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きい順番、速い順番がわかる ・真ん中、中ぐらいがわかる ・4までの対応がわかる <p>○自分の生活に関わって、時間的見通し、空間的關係がかなり広がりがつなげてくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行為の予定がわかり、「あしたは〜する」など言う ・曖昧だが、いろいろな曜日があることがわかり言う ・「ずーっとあっち、こっちの方」という言い方をする 	<p>○友達の中で自分の姿がわかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の事を自慢する ・はにかむ ・くやしがる ・人に注目されると嬉しい ・相手が嫌がったり傷ついたりする言葉を使い、腹立ちを紛らわせたり、からかったりする(怒りの変化) <p>○課題に対して自分を合わせようとする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びに誘われても、好きな当番なら役割を果たそうとする <p>○気持ちのコントロールができ自制心が育ってくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験したことなら相手の気持ちもわかり相手に合わせようとする ・「今はやめておこうね」などと言われて納得すれば我慢しようとする ・声かけをすると、状況がわかり、時と場所をわかまえようとする 	<p>○日常生活習慣が自立する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こぼさないように気をつけて食べようとする ・食事中、立ち歩くことは、殆どなくなる ・共通の話題で楽しみながら食べる ・排尿、排便の後始末がほぼできる ・ボタンをはずしたり、はめたりする ・1日の生活の中で午睡の時間がわかり静かに寝ようとする ・散歩の時など道路を歩く場合、決まりがわかって行動する ・危ない場所に近づいたり、危険な遊びをしたりすることが少なくなる 			

月 齢	運 動 (健康)	認 識 言 語		情 意 (人間関係)	社 会 性		
		(表現・環境)	(言語・表現)		自 我・対 人	基 本 的 生 活	(環 境) (健 康)
4:00	<ul style="list-style-type: none"> ・連続してケンパをする ・ハサミで形を意識して切ろうとする ・紐を結ぶ(1回結び) 	<p>○ルールがわかってくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャンケンに関心をもつ ・当番活動の内容がわかる <p>○想像や空想の世界が広がる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本を見たりお話を聞いたりして、心の中でイメージを作っている <p>○話し言葉がほぼ完成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・想像や願望を自分のイメージで描こうとする ・自分の経験、印象、気持ち等をおりまぜて、聞き手にわからせようと努力しながら話す ・「えーとね えーとね」や「〜して〜して」等の言葉を使いながら、長い話をする ・発音が整ってくる ・「ぼくら」「わたしたち」と複数形の人称代名詞が増える ・「オレ」「オマエ」等のような言葉をわざと使う ・経験した事や興味のある事などの話には、興味をもって聞こうとする <p>○お互いのイメージを交換し合いながら遊びを展開する (けんかをしたり、言い合ったりして)</p> <p>○目的にかなうように、色々物の捉え方をええたり、やり方に工夫を加えたりしながら、描いたり作ったりする</p>	<p>○仲間意識が育ってくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つの事をテーマにして2~3人でイメージを共有、交換して遊びを楽しむ ・自分にとって嫌な事をされた時に、いろんな出し方で伝えようとする ・友達が困っていたり、嫌な事をされたら気付く ・「やめてあげて」と言える ・物の取り合いや、トラブルが起きた時に何とかしようとする ・競争することを喜ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団遊びなどの中でルールを知り、守ろうとする ・衣類の裏表、前後、靴の左右などがわかるが、間違えて着ることもある ・自分で鼻をかむ ・必要な時、促されうがいをする ・顔を洗って拭く ・保育者と一緒に部屋を片付ける ・意味がわかって歯を磨き、口をすすぐ ・自分の食べられる量がわかってくる 			

月 齢	運 動 (健康)	認 識 言 語		情 意 (人間関係)	社 会 性		
		(表現・環境)	(言語・表現)		自 我・対 人	基 本 的 生 活	(環境) (健康)
5:00 ~ 6:00	<p>○自分の意思で運動をコントロールできるようになり、手指の操作が巧みになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全力疾走する ・少し泳ぐ ・鉄棒で前回りをする ・リズムに合わせてスキップする ・なわとびをする ・ブランコを力強くこぐ ・助走して開脚跳びをする ・ボールを相手にうまく投げたり、パスされたボールを受け取ったりする ・固結びをする ・雑巾をしぼる ・ハサミで円を切る ・コマまわしをする ・のこぎりや包丁を使う 	<p>○概念形成が豊かになる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違うところを見分けたり、似たところを物でまとめて見たり扱ったりする ・文字を見わかる力がついてくる ・用途に応じて道具を使う ・一方的な物の見方から抜け出し、相互性が理解できる ・9までの対応ができる ・物の種類により数の数え方に違いがあることがわかる(一枚、一匹、一本・・・) ・速いか遅いかなど時間の速度がわかる(もっと速く、大急ぎで) ・食事、就寝など興味をもった時間の区切りのところで時刻がわかる 	<p>(言語・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「○○組の△△さん」と言われてわかる ・自分の名前など身近な物の文字を読もうとする ・文字に関心をもち、書きたい気持ちから書いてみようとする ・共通の目的・課題を持って相手の言い分を聞きながら話し合う 	<p>○課題を達成しようとする意識がはっきりしてくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまく出来るだろうかという期待や失敗したらという不安がある ・自分でこうでと思っているのに、うまくできなかった時は落ち込む ・やれたという達成感や満足感をもつ ・協力したり競争したりすることを喜ぶ <p>○自尊心や自負心があらわれる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・納得すれば素直だが、納得しない事に関しては譲らない ・自分のできなかった事を認めようとしなかったり言い訳をしたり、嘘をついてごまかそうとする <p>○仲間意識が育つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人ができるとそれを手本にし自分も励む。また人と比較して羨ましがったり失望したりする気持ちもあらわれてくる ・年下の子に優しく関わる ・困っている友達に気づいたりトラブルが起きたりした時に、お互いの思いを聞き入れ解決しようとする <p>○役割分担ができてくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割を責任を持って最後までやりとげようとする ・自分を主張するが、相手の主張も受け入れようとする ・簡単なルールをつくりだし、友達と一緒に遊びを発展させる 	<p>(人間関係) (環境) (健康)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事をとることの意味がわかる ・一日に3回の食事をとることがわかる ・排泄の一連の行動ができる ▽用便後ペーパーで拭く ▽水を流す ▽手洗いをし拭く ▽履き物を揃える ・就寝に関する動作ができる ▽午睡の用意ができる ▽脱いだ衣服をたたむ 		

月 齢	運 動 (健康)	認 識 言 語		情 意 (人間関係)	社 会 性		
		(表現・環境)	(言語・表現)		自 我・対 人	基 本 的 生 活	(環境) (健康)
5:00 ~ 6:00	<p>類推：経験した事を土台にして未知の物事について『多分そうではないか』と判断する</p>	<p>・一日に周期があることがわかる(朝・昼・夜)</p> <p>・生活に順序があることがわかる(昨日・今日・明日、月・日・曜日、季節)</p> <p>・時間の長い短いわかる(「もう時間がないで」「えらいおそいな」)</p> <p>・空間の関係がわかる(遠い・近い・ずっと向こう、浅い、狭い、斜め)</p> <p>○因果関係がわかってくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜそうなんだろう」と追求する力が育ってくる(空が曇っていると、雨が降ってくるのかな) ・物の関係性を類推する「動くとき影がついてくるのはどうしてかな」「お日様がいるからずっとついてくるのだ」 	<p>(言語・表現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もし~ならば」「~かもしれない」など、仮定の言葉を使って話す ・「まるで~みたい」「~のようだ」と比喩の言葉を使う <p>○社会にはルールがあることがわかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人称複数、二人称複数の言葉を多く使うようになる ・語彙が豊かになり、自分の経験を場面や目的に適した表現で順序だてて話せる 	<p>(人間関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間に入れなかったり取り残されたりしないか不安になる ・仲間に入れてもらえなかった時には悔しがる ・一人一人の違いを認め合い、相手の気持ちを大切にしようとする ・友達表情やしぐさから相手の気持ちを要求をくみ取り行動できる ・期待したことが叶えられ満足感をもち喜ぶ <p>○善悪の判断が育ってくる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人のすることの良い悪いを判断する ・食い違ふと文句を言う 	<p>(人間関係) (環境) (健康)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びと仕事の違いを意識して、当番活動ができる ・自分から進んで「なかにまにいて」と言っていける ・または、友達に支えられて言っていける ・仲間と共に達成できたことを喜び合う ・お互いに楽しく遊ぶために順番や約束事を決めて守る 	<p>(環境) (健康)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣類の前後・裏表、靴の左右など、ほとんど間違わずに着ることが出来る ・食事の準備(配膳・盛り付け)、片付けが上手になる ・食べ物が料理名で表現でき、その作り方や材料に興味を示す ・自分の状況に合わせて衣類を調節することができる ・掃除をすると気持ちよくなる事がわかり、自分の周りの環境(ロッカー・おもちゃ等)を整える 	

○自分の知っていること(知識)によって絵を描いたり、経験した事や感じた事、空想等を描いたりしようとする

○イメージが豊かになり虚構の世界がわかってくる

- ・うそことわかった上で内容を聞き取れる
- ・絵本や話の筋がわかり、出てくる人の気持ちがわかる
- ・劇のストーリーとそれぞれの役割の繋がりがわかる
- ・劇のストーリーや台本を作って話す

延長保育

延長保育は、教育保育時間外の時間帯における教育保育を実施することにより、乳幼児の心身の健全な発達を図るとともに、保護者の子育てを支援することを目的とする事業です。家庭的な雰囲気の中で安心してゆったりと過ごしながらか保護者のお迎えを待つことができるように配慮しています。

[利用できる方]

在園している園で全児利用できます。

[利用方法]

事前登録をしていただきます。

ご希望の方は、『延長保育利用（変更）申込書』を、所属のこども園にご提出ください。

[利用料]

通常の保育料のほかに別途延長保育料がかかります。詳しくは下記の表でご確認ください。

1時間あたり200円です。

*1号認定児童の延長保育料は、園ごとに異なります。

	7:00	8:30	9:00	14:00	14:30	17:00	17:30	18:00	18:30	19:00
教育標準時間 (1号認定)	延長保育		基本保育時間 (5時間)	延長保育						
保育短時間 (2・3号認定)	延長保育		基本保育時間 (最長8時間/日)			延長保育				
保育標準時間 (2・3号認定)	基本保育時間 (最長11時間/日)							延長保育		

年齢別デイリープログラム [一日の流れ]

時間	3号認定 生後 57 日～6 カ月		3号認定 6 カ月～12 カ月		3号認定 1, 2 歳児	
	(短時間)	(標準時間)	(短時間)	(標準時間)	(短時間)	(標準時間)
7:00	延長保育	順次登園	延長保育	順次登園	延長保育	次登園
9:00	朝の遊び		朝の遊び		朝の遊び (合同保育)	
9:30	個々のリズムや要求に対して応答的な関わりをしてもらって過ごす。 (ミルク、睡眠、排せつ、遊びなど)		個々のリズムや要求に対して応答的な関わりをしてもらって過ごす。 (ミルク、睡眠、排せつ、遊びなど)		午前のおやつ	
9:45					午前のおやつ	
10:00			午前の離乳食		クラスでの遊び(部屋、ホール、園庭、散歩等)	
10:30					クラスでの遊び(部屋、ホール、園庭、散歩等)	
11:00			個々のリズムや要求に対して応答的な関わりをしてもらって過ごす。 (ミルク、睡眠、排せつ、遊びなど)		個々のリズムや要求に対して応答的な関わりをしてもらって過ごす。 (ミルク、睡眠、排せつ、遊びなど)	
12:00	給食					
12:30	午睡					
14:30			午後の離乳食		午睡	
15:00			個々のリズムや要求に対して応答的な関わりをしてもらって過ごす。 (ミルク、睡眠、排せつ、遊びなど)		午後のおやつ	
16:00	夕方の遊び		順次降園		夕方の遊び 順次降園	
17:00	延長保育		延長保育		延長保育	
18:30	延長保育				延長保育(おやつ)	
19:00	保育終了					

3歳児			
時間	1号認定	2号認定（短時間）	2号認定（標準時間）
7:00	延長保育	延長保育	順次登園 朝の遊び (合同保育)
9:00	順次登園 朝の遊び (合同保育)	順次登園 朝の遊び (合同保育)	
9:30	朝の集まり (挨拶・出欠調べ・体操・ その日の予定・行事の紹介等)		
10:00	クラスでの遊び (園全体・学年・異年齢交流など)		
11:00	昼食準備		
11:30	昼食 クラスでの遊び		
12:30	片付け 1日の振り返り・絵本タイムなど		
13:00	昼の遊び (合同保育)	午睡準備 午睡	
13:15			
13:40	降園準備		
14:00	降園 園庭開放 延長保育		
15:00	おやつ (1号の延長保育児と2号保育児合同)		
16:00	延長保育 (おやつ)	夕方の遊び 順次降園	夕方の遊び 順次降園
17:00		延長保育 (おやつ)	
18:00			延長保育 (おやつ)
19:00	保育終了	保育終了	保育終了

4, 5歳児			
時間	1号認定	2号認定 (短時間)	2号認定 (標準時間)
7:00	延長保育	延長保育 順次登園	順次登園 朝の遊び (合同保育)
9:00	登園 朝の遊び (合同保育)	朝の遊び (合同保育)	
9:30	朝の集まり (挨拶・出欠調べ・体操・ その日の予定・行事の紹介等)		
10:00	クラスでの遊び (園全体・学年・異年齢交流など)		
11:00			
11:30	昼食		
12:30	クラスでの遊び (園全体・学年・異年齢交流など)		
13:00			
13:15	片付け 1日の振り返り・絵本タイムなど		
13:40	降園準備	休憩時間	
14:00	降園 園庭開放 延長保育		
15:00	おやつ (1号の延長保育児と2号保育児合同)		
16:00	延長保育 (おやつ)	夕方の遊び 順次降園	夕方の遊び 順次降園
17:00		延長保育 (おやつ)	延長保育 (おやつ)
18:00			延長保育 (おやつ)
19:00	保育終了	保育終了	保育終了

《個人情報保護に関するプライバシーポリシーについて》

本園では、「豊中市個人情報保護条例」に基づき、関係する人々の人格を尊重し信頼関係を維持するために、個人情報保護に努めます。この目的を実現するために、下記のプライバシーポリシーに基づき、個人情報の適正な取り扱いを行います。

このプライバシーポリシーにおける個人情報とは、こども園が運営上知り得た在園児・保護者の個人を識別できる情報を指します。

今後とも以下の趣旨をご理解の上、ご協力お願い申し上げます。

記

- 1、 本園は、園教育活動の遂行、または園を運営するにあたり、適正な方法でかつ利用目的を特定、明示した上で個人情報を収集し利用いたします。また、法令に定めがある場合を除き、明示した利用目的の範囲内で個人情報を利用いたします。
- 2、 本園は、個人情報を正確かつ安全で最新の状態で管理するように努めるとともに、個人情報の紛失、改ざん、漏えい又は、個人情報への不当なアクセス等が行われないように、適切な安全対策を講ずるよう努めます。また、前項の業務遂行において、個人情報の取り扱いを第三者に委託する場合には、その安全管理について委託先に対する必要かつ適正な監督を行います。
- 3、 本園は個人情報の取り扱いを第三者に委託する場合や法令に定める場合を除き、事前に保護者の同意を得ずに第三者に個人情報を提供することはありません。
- 4、 本園は、個人情報所有者が、ご本人の個人情報の開示を求めた場合は、法令等に定めがある場合を除き、ご本人であることを確認した上で原則としてこれに応じます。また、ご本人の個人情報の誤りに対しての訂正又は、削除が求められた場合には、原則としてこれに応じます。
- 5、 本園は、「豊中市個人情報保護条例」その他関係法令等を遵守いたします。また、本園において個人情報の収集、使用に従事するものは、個人情報の秘密の保持に十分に注意を払い適正に業務を行います。
- 6、 このプライバシーポリシーは、関連法令等の制定・改正に応じて、内容を改正する場合があります。
- 7、 このプライバシーポリシーに関するご質問は、本園個人情報保護委員会へお問い合わせください。
(電話： 園の電話番号 / 個人情報保護委員会責任者：園長)
- 8、 次に掲げる場合には、利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報を取り扱い、又は、本人の同意を得ないで個人情報を第三者へ提供することが認められています。
 - ① 法令等に定めがあるとき。
 - ② 人の生命、身体又は、財産に対する危険を避けるため、緊急やむを得ないとき。
 - ③ 訴訟、指導、相談等の事務で本人から収集したのではその目的を達成し得ないと認められるとき。または事務の性質上本人から収集したのでは事務の適正な執行に支障が生じると認められるとき。
- 9、 こども園が収集する個人情報の取得・保管については、上記の趣旨を踏まえるとともに、個人情報が不要になりました場合は、シュレッダー又は、溶解処理を行います。

【こども園の自己評価の基本的な流れ】

個人別 自己評価	幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み込む。それに沿って、自分自身の保育の振り返りを、『公立こども園自己評価表①』で評価を行い、保育課題を可視化していく。
-------------	---

▼ (自己評価表 ⇒ 学期に1回 ⇒ 年3回目標)

グループ別 自己評価	クラス、乳幼児、グループ等、少人数で意見交流し、再評価する中で自らの教育・保育を見つめ直し成果及び課題を明らかにする。
---------------	---

▼ 『豊中市教育保育環境ガイドライン②』を活用し、園長・副園長を中心に、環境（物的環境・人的環境）の視点で、第三者的に評価を行っていく。

全体会議で 報告	全体会議での報告の機会や教育・保育会議の中で確認する機会をもつ。
-------------	----------------------------------

▼

園長会 報告	各こども園が自己評価を実施することで見えた成果・課題及び改善点を、各ブロックで集まる園長会や副園長会などで議論し研究していく。
-----------	---

▼

園評価の 公表	各園の出された自己評価の成果・課題及び改善点を総括し、次年度における教育・保育の質の向上につなげる。ホームページで公表する。
------------	--

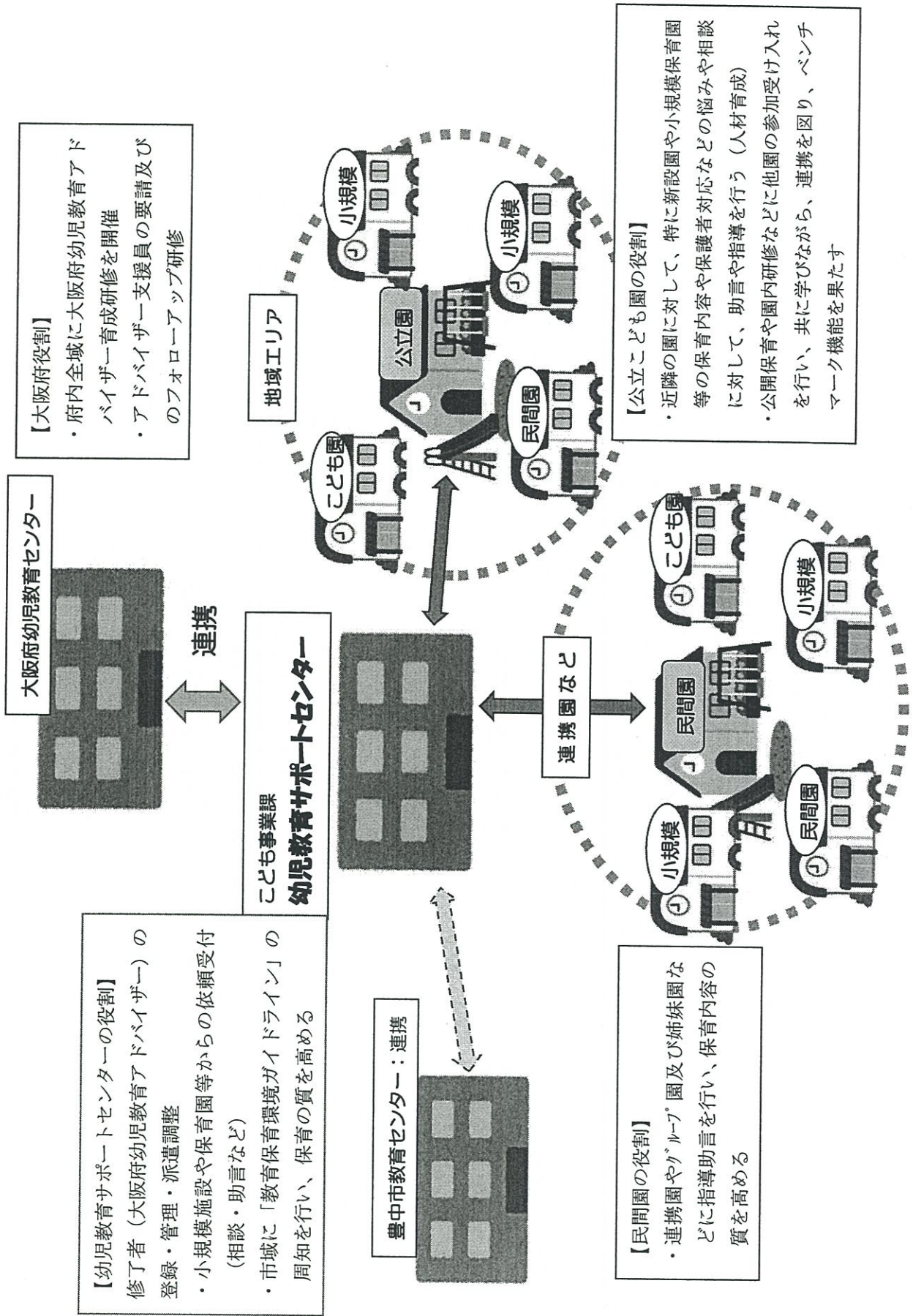
*①公立こども園の代表者により策定。(2019 (H31)・3)

*②公民の代表者により策定。(2019 (H31)・3)

*①②・・・豊中市のホームページに掲載

豊中市幼児教育 サポートセンター

資料 7



(保護者説明用から抜粋)

豊中市 本町休日保育について(お知らせ)

1. **対象児童** 保護者が休日の就労などにより保育が困難な、豊中市に居住している満1歳以上の次のいずれかに該当する児童
 - A 認可保育所、認定こども園、小規模保育施設または家庭保育所に在籍している児童
 - B Aの児童と同一世帯に属する就学前の児童
 - C 豊中市に利用調整申込書を提出し、現在認可外保育施設または幼稚園に在籍している児童

※配慮を要する児童は、こども事業課まで事前にご相談ください。
2. **実施場所** 豊中市立本町こども園
住所：豊中市本町5丁目8番52号
3. **開園日** ①日曜・祝日（ただし12月31日から翌年1月3日までの期間は除く）
②12月29日・30日
4. **開園時間** 午前8時00分～午後7時00分まで
5. **必要書類** 各施設、または豊中市のホームページより各様式の入手が可能です。
 - (ア) 1. 対象児童のAに該当する児童
 - ① 豊中市本町休日保育登録申込書（様式1号）
 - ② 本町休日保育利用申込書（様式3号）
 - (イ) 1. 対象児童のB, Cに該当する児童
 - ① 豊中市本町休日保育登録申込書（様式2号）
 - ② 本町休日保育利用申込書（様式3号）
 - ③ 医師による本町休日保育事業利用についての意見書（様式4号）またはこれに準ずる健康診断結果。身体面での配慮を要する児童は、これに合わせて保育実施について意見書または専門機関の所見書又は診断書（集団生活の可否を記載したもの）
 - ④ 生育歴（様式5号）
6. **申込方法** 半年ごとの事前登録制です。（別紙参照）
7. **保育料** 1日 2,500円
利用当日の登園時に、つり銭のないようお支払い願います。減免制度はありません。
8. **利用定員** 1日あたり25人
9. **休園等について**
 - ①感染症等で集団生活に支障をきたす時は、利用できません。
 - ②保育開始時間までに「特別警報」「暴風警報」が発令された時は、休園となります。

※ お問い合わせ：こども未来部こども事業課 TEL 06-6858-2569